

# 教材配布用 Web 作成手順書（教育用 PC 利用編）

## 教材配布用 Web 作成手順書

### 1 初めに

教育用 PC を利用し、本学が用意した教員の公開用サーバー（`www2.kaiyodai.ac.jp/~xxxxxxx,xxxxxxx` は海洋大 ID）を利用する場合の記述です。公開サーバーの OS は Linux です。実際のディレクトリーは、`/home/xxxxxxx` までが用意されていて、その下にご自身で「`/public_html`」（固定）を用意していただく必要があります。そしてさらにその下に教材用（例えば「`/lecture`」（任意）など）を用意していただく必要があります。教育用 PC の利用には、利用者カードが必要です。ディレクトリーのアクセス権設定のため、一部 Linux のコマンドを使用します。以下、状況に応じて linux 用語のディレクトリー、Windows 用語のフォルダーを使います。

#### 1.1 アクセス制限方法の決定

アクセス制限方法（「ID、パスワード入力」（推奨）、学内限定など）を決定し、サブディレクトリー構成も決めます。（ご注意）いったんアクセス制限をかけずに公開したコンテンツは、アクセス制限をかけた後もネットワーク中にバッファリングされ、長期間残りますので、ご注意ください。

### 2. 公開用フォルダーの作成とアクセス権設定

エクスプローラを起動し、Z ドライブの直下に「`public_html`」（固定）サブフォルダーを作成します。ここでアクセス権を変更するため、教育用 PC にインストールされている「VMware」をクリックし、Ubuntu を起動し、さらに Terminal を起動し、各ディレクトリーへのアクセス権（パーミッション）を設定します。自分のルートディレクトリーは、自分以外は実行のみ可能（711, 詳しくは、Linux の入門書などを参照してください）にするため、コマンドの入力部分に「`chmod 711 $HOME`」と入力し、「実行」をクリックしてください。公開用のディレクトリーである `public_html` は書き込みのみ禁止するアクセス権(755)を設定するため、「`chmod 755 public_html`」と入力して実行をクリックしてください。ここで `ubuntu` をシャットダウンし、Windows に戻ります。教材などを置く場合は、必要に応じてその下に教材などを置く「`lecture`」（任意）を用意します。

#### 2.1 公開制限ファイルの作成

記述を行う「`.htaccess`」、「`.htpasswd`」を用意します。いずれも直下のサブディレクトリーに効力がおよびます。

##### 2.1.1 .htaccess ファイルの書き方（パスワードを要求する場合）

メモ帳などで、

`AuthUserfile /フルパス/.htpasswd`

`AuthGroupfile /dev/null`

## 教材配布用 Web 作成手順書（教育用 PC 利用編）

AuthName "Please enter your ID and password"

AuthType Basic

require valid-user

と入力し、拡張子を「.htaccess」として public\_html フォルダに保存してください。

ここで、フルパスとは、「/home/海洋大 ID/public\_html/(次の.htpasswd を置くフォルダ)」です。

### 2.1.2 .htpasswd の書き方（パスワードの作り方）

パスワードは暗号化するため、一例として、<https://www.luft.co.jp/cgi/htpasswd.php> にアクセスしてご希望の ID（ここでは、inc）とパスワードを入力し、その結果をメモ帳で

```
inc:BVqzV7ToR5SZs
```

で張り付けて、拡張子を「.htpasswd」として「.htaccess」で指定したフルパスのフォルダに保存してください。

### 2.1.3 （参考）学内からのアクセス限定にする場合の「.htaccess」

アクセス元を学内ネットワークに限定する場合の「.htaccess」の内容を記載します。これを記載した場合、学生が自宅などからアクセスする場合は、SSL-VPN 接続が必要になります。

```
<Limit GET>
```

```
order deny,allow
```

```
deny from all
```

```
allow from 192.244.144.0/20
```

```
allow from 164.161.0.0/17
```

```
allow from 164.161.128.0/18
```

```
allow from 164.161.192.0/19
```

```
allow from 164.161.224.0/20
```

```
allow from 164.161.240.0/21
```

```
allow from 164.161.252.0/22
```

```
allow from 164.161.250.0/23
```

```
</Limit>
```

## 2.2 Web 作成ツール

教材を公開する程度であれば、メモ帳でも十分です。以下は 2 教材（実際は越中島のキャンパスマップの pdf）公開する場合の例です。

```
<html>
```

```
<head>
```

```
<title>Home Page of Prof. TUMSAT</title>
```

```
</head>
```

```
<body>
```

## 教材配布用 Web 作成手順書（教育用 PC 利用編）

```
<h1>Welcom to my page</h1>
<p>私の教材です。<br>
<a href="lecture/Campus_Map_E_Landscape.pdf " target=_self" _>科目 1</a>
<br>
<a href="lecture/Campus_Map_E_Portraite.pdf " target="_self">科目 2</a>
</p>
<h2>TUMSAT</h2>
</body>
</html>
```

これを「index.html」で public\_html フォルダに保存してください。

### ■ HTML タグの説明

- ・ <br> (改行タグ) を例外に、すべて <「Tag」 (「Option」)> と </「Tag」> で囲ってください。
- ・ 全体を <html> と </html> で囲ってください。
- ・ <head> と </head> に囲まれた部分はブラウザには表示されませんが、<title> と </title> に囲まれた部分は、ブラウザ上部のタブに表示されます。
- ・ <body> から </body> までが本文です。<h(n)> と </h(n)> (n は 1~6) に囲まれた部分は強調表示されます。<p> と </p> に囲まれた部分は通常表示されます。
- ・ <a> と </a> に囲まれた部分に本文側に表示するリンク先のタイトル、「href=」のダブルクォーテーションに囲まれた部分がリンク先のファイル（頭の lecture/ は、この HTML のサブディレクトリーにファイルがあることを示しています。「target=」はリンク先ファイルの表示方法で、「\_self」を指定することで同じウィンドウになり、ポップアップブロックを避けられます。念のため、サブディレクトリー名もファイル名も多バイトコードは使用しないでください。

以上の内容を index.html に保存して、ブラウザで表示したものが



## 教材配布用 Web 作成手順書（教育用 PC 利用編）

です。

\*HTML タグや教材、あらかじめファイルサーバーに置いてあったファイルを含めて容量は 1GB までです。図や写真などは十分に圧縮してください。